



未来に残そう大磯のクロマツ

～大磯小学校児童による植樹体験～

記者発表資料

○松並木を生かした地域・道づくりを目指して

一般国道1号東海道の藤沢市～小田原市に至る松並木は、約400年前の江戸時代に街道整備の一環として形成されました。

この度、既存の松の種子から芽生えた苗木(地域性苗木)を育成させることにより、松並木を生かした地域・道づくりを行うこととしました。

今回は、この地域性苗木を東海道の松並木として「育て」「守る」という観点から、地元の大磯小学校児童に参加してもらい、クロマツの植樹体験を行います。

なお、横浜国道事務所では現存する松並木の保存のために、大磯中学校生徒による総合学習の一環として「こも巻き体験」等を毎年行っています。



○大磯小学校の児童(5・6年生)によるクロマツの植樹体験

実施日:平成19年1月15日(月)午後3時00分から(小雨決行)

場所:神奈川県中郡大磯町東小磯(大磯中学校前の国道1号)

参加人数:約40名

平成19年 1月12日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、
小田原記者クラブ、平塚記者クラブ、藤沢記者クラブ

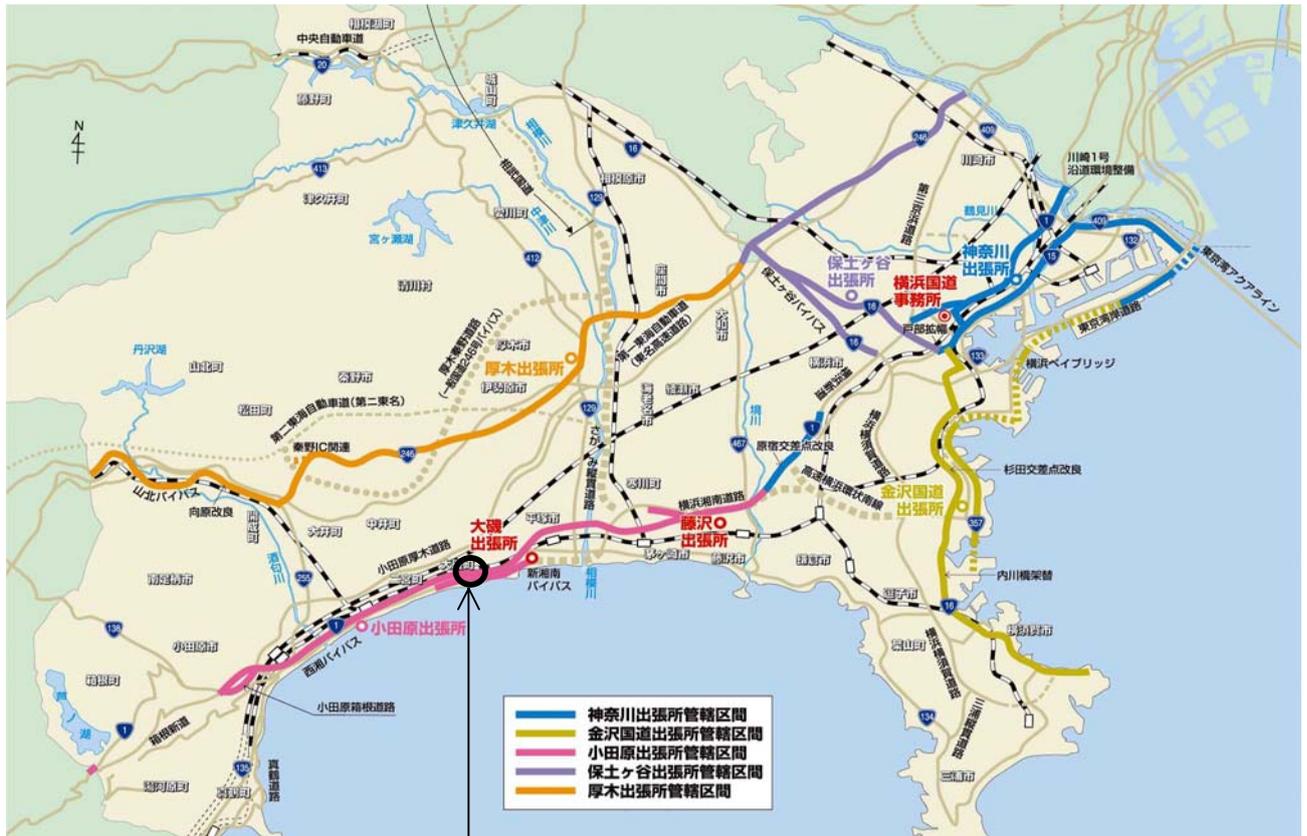
問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

計画課長 土肥 学 tel 045-316-3536(直通)

管理第二課長 大原 宣夫 tel 045-316-3539(直通)

【クロマツの植樹体験場所】



大磯小学校児童による
植樹体験場所
(大磯中学校前)



平成18年12月
地域性苗木育成状況

